

厚生文教常任委員会 視 察 報 告 書

地域福祉委員会では、令和4年度の所管事務調査事項を下記のとおり決定し、調査研究を実施いたしました。以下その概要を報告いたします。

標記の件について、下記の通り報告いたします。

1 調査事項

- (ア)重層的支援体制について
- (イ)高松市の包括的支援体制について
- (ウ)まるごと福祉相談員について
- (エ)アウトリーチ等を通じた継続的支援について

2 委員構成

委員長 加来 喬 副委員長 工藤 壮一郎
委員 渡辺 雄爾 委員 岩尾 育郎
委員 二宮 健太郎 委員 阿部 素也

3 日 程 令和5年11月14日(火)13:30～15:00

4 会 場 高松市役所市議会会議室

5 対 応 高松市健康福祉局 健康福祉総務課 地域共生社会推進室
室長 藤川 盛司 氏

6 内 容 高松型地域共生社会構築事業：重層的支援体制整備事業について学ぶ

7 概 要 高松市の総人口 419,894人（令和5年11月1日時点）

高齢化率 28.6%

面 積 375.67k m²

【調査事項】

四国の北東部、香川県の中央に位置する高松市。瀬戸内海に面し、古くは四国の玄関口として繁栄した。便利な都市機能とどこかな田園風景がコンパクトに調和したまちとして現在では国の出先機関や企業の支店等が集積された四国の中核管理都市として栄える。

人口の推移は平成26年の42万人をピークに減少基調に転じ2072年には27万人となることが想定されている。

① 高松市重層的支援体制整備事業実施計画について

平成 30 年 8 月よりモデル事業を開始

まるごと福祉相談員を 2 名配置

平成 31 年 4 月 組織機構変更 地域共生社会推進室を設置

令和 2 年 2 月 つながる福祉相談口を設置

令和 2 年 10 月 エリア拡大

令和 3 年 4 月 移行準備事業を開始

令和 3 年 10 月 エリア拡大 まるごと福祉相談員 15 名に(社協兼務)

令和 4 年 4 月 重層事業を開始 現在に至る

令和 2 年 6 月に社会福祉法が改正され、地域共生社会推進の観点から、市町村における包括的支援体制の構築を進めるため、相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に行う「重層的支援体制整備事業」が創設された

高松市では対象を 7 エリアに分け 15 名の社会福祉協議会職員がまるごと福祉相談員・生活支援コーディネーターを兼務し地域へのアウトリーチやニーズの可視化などに努めて困りごとを抱える市民を他機関へつなげていき連携を図っている。

(高松市地域共生社会推進プロジェクトチーム ※年 2 回、町内 9 極 41 課のメンバー)

特に近年、増加傾向にあるひきこもり対策についても民間の「一般社団法人^{ひとと}hitotoco」に指定管理を委託し支援対象者の社会復帰に向けてフォローアップしている。対象者を 259 名洗い出し、うち 5 名の社会復帰をサポートしてきた。

また地域みんなで助け合う仕組みづくりとして平成 27 年より地域福祉ネットワーク会議を立ち上げ住民主体の支え合いサービス(介護保険事業【訪問介護サービス B】:ゴミ出し、草抜き、掃除、電池交換・電球交換、買い物代行を 26 地区。【通所型サービス B】体操・運動、趣味活動、交流活動 6 地区)介護保険適用外だが総合事業対象者以外でも利用ができるようその他事業として 23 地区で事業運営し活動の担い手育成にも力を入れている。※担い手養成研修会 77 人終了。ネットワーク会議交流会 129 人参加

【所感】

今回、高松市の重層的支援事業体制の支援状況等の説明を受ける中で感じた事は、市・社協の連携がしっかりとしている事。

特に行政がネットワーク会議を通して主導的に担い手育成に力を注いでいる点に本市との差異を感じました。

地域のみinnで助け合う仕組みづくりとして、ゴミ出しや買い出しなど、お困りを抱える高齢者等を支えるネットワークがしっかりとしている内容。介護保険事業として、サービスを有償化しながらも保険適用できる点など事業運営を継続的にできる仕組みづくりこそ重層的支援の本当のサービスではなかろうかと思われる。

本市にもこのような取り組みを自治協議会に丸投げではなく、行政主導でしっかりと取り組んでいただけるよう要望していきたいと考える。

また、民間運営団体「一般社団法人^ひto.^とco」の存在により、ひきこもり対策に対してもより具体的な支援体制が構築されている感じがした。

アウトリーチ等を通じた継続的支援体制にしても R4 年度のアウトリーチ回数は 11,035 回と、情報収集や本人との関係性構築を真剣に考え、関係機関との情報共有に視覚的にも力をいれている事が我々に伝わってきた。

今後は、今回の視察を参考に高松市の事業内容とも比較しながら事業の進捗状況などを委員会で調査研究していきたい。